

保健師助産師看護師国家試験問題の公募について

厚生労働省では、保健師助産師看護師国家試験制度改善検討部会報告書等を踏まえ、関係者による国家試験問題作成の取り組みが、看護教育の在り方を探求する機会につながることを期待して、作成された試験問題及び視覚素材の公募を推進しています。また、作成された試験問題及び視覚素材等に加えて、状況設定問題のもととなる情報（匿名化された事例やデータ、状況など）の登録もお願いしています。

公募問題の登録にあたって、以下の登録手順等と Web 公募システムの利用方法（別添 2）をご覧ください。試験問題の公募にご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、既に試験問題の公募のご登録をされている場合は、登録済みのログイン ID 及びパスワードをご利用可能であることを申し添えます。

1. 登録手順等

① 試験問題の公募のパスワード発行の登録

Web 公募システムをご利用になるために、団体・学校養成所・施設において試験問題公募のためのご登録をメールにてお願いいたします。

【宛先】

web-koubo@mhlw.go.jp

【記載内容】

件名：Web 公募システムのパスワード発行について

本文：所属名称（団体、施設、学校養成所）、所属の所在地、電話番号、メールアドレス

※留意事項

Web 公募システムのパスワードは団体・学校養成所・施設毎の配付となりますのでご注意ください。

ご登録いただいた連絡先に、Web 公募システムにアクセスするためのログイン ID とパスワードをメールでお伝えいたします。

② Web 公募システムのパスワード等の配付

③ 試験問題と視覚素材のご登録

Web 公募システム (<https://www.newpass.mhlw.go.jp/>) にアクセス、配付した ID とパスワードにてログインして試験問題のご登録をお願いします。

Web 公募システムの利用方法については、Web 公募システムの利用方法（別添 2）をご参照ください。

2. Web 公募システム登録例

Web 公募システムの URL : <https://www.newpass.mhlw.go.jp/>

【状況設定問題のもととなる情報】

6 歳の女の子。

重症の新生児仮死で出生。

誤嚥性肺炎で入退院を繰り返しているため、今回の入院で経鼻経管栄養法を導入した。

退院後は週 1 回の訪問看護を利用する。

四肢と体幹の著しい運動障害があり、姿勢保持が困難。移動、移乗は全介助。

訪問看護師は、母親に誤嚥性肺炎を予防するためのケア方法として、胸郭可動域の訓練を行うよう指導した。

作成された試験問題ではなく、
情報のみの登録も可能です。

【視覚素材登録例】

基本情報:34 歳、男性。

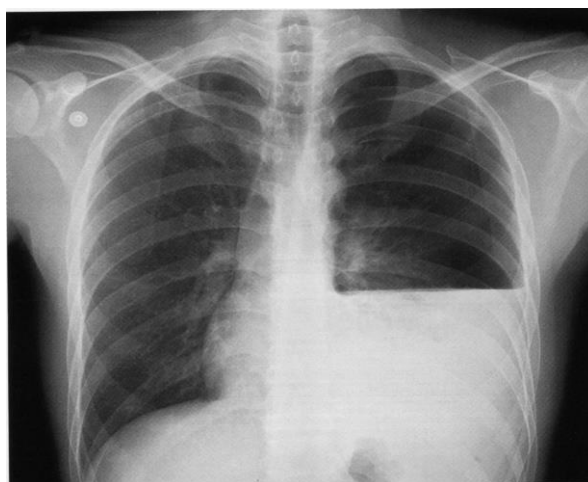
主訴:息苦しさ、胸痛。

数日前から息苦しさを感じていた。

来院前日夜から呼吸困難が増強し、午前 2 時に救急外来を受診。

来院時、意識は清明。バイタルサインは、呼吸数 24/分、脈拍 96/分、血圧 132/86mmHg、SpO₂92%であった。胸部エックス線撮影を実施し、胸腔ドレーンを留置した。

視覚素材のみの
登録も可能です



登録された情報は国家試験関連業務のみで使用し、他の目的では使用しません。
よりよい試験問題の作成にむけてご協力をお願いいたします。

以上